

# 編修趣意書

## 教育基本法との対照表

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-2	中学校	国語科	書写	1・2・3 学年
発行者の番号・略称	教科書の番号・略称	教科書名		
38 光村	書写 735	中学書写 一・二・三年		

## I. 編修の趣旨及び留意点

### 編修の趣旨

生徒の未来を支える「書写の力」の定着を旨とし、次の点を柱に編修しました。

### 一生ものの、「書く力」を育てる

- 文字を書く楽しさや喜びが体感できる教材、学ぶ達成感を感じて取り組める構成を旨としました。生徒の主体的な学習姿勢を育成します。
- 書写を学習する目的を明確にし、生徒が必然性をもって学習できるようにしました。習得と活用を効果的に繰り返すことによって、確実に書写の力を育成します。
- 身につけた書写の力を日常に生かすヒントを満載しています。また、1年から3年までの内容を1冊にまとめた構成は、学んだことをいつでも振り返ることができ、一生使える書写の力を育成します。

### 編修の留意点

#### 1 学習の基本となる書写の力を育成する。

- 小学校での書写学習を踏まえ、「文字を正確に読みやすく書く」という書写の基礎的・基本的な知識や技能を、発達段階に応じて身につけられるよう学習活動を構成しました。

#### 2 書写に対する関心を高め、尊重する態度を育成する。

- 書写の学習で培った力が、国語科をはじめとする各教科等の学習場面や「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動に生かされることを理解し、生徒が目的意識をもって学習に取り組むことができるよう構成しました。

#### 3 身につけた書写の知識や技能を、日常に生かせる力を育成する。

- 書写の学習で培った力を、国語科をはじめとする各教科等の学習場面や社会生活において、目的や必要に応じて活用できるよう配慮しました。伝達手段としての文字に対する感覚を養うことで、生徒の言語生活を豊かにすることを旨としました。

#### 4 伝統的な文字文化に触れて感性や情緒力を育成する。

- 我が国の伝統的な文字文化やこれからの社会生活に役立つさまざまな文字に関する意識、及び、それらに親しむ態度を育成することを旨としました。

## 5 コミュニケーション能力を育成する。

- 相手や目的、意図、場面に応じ、互いの立場や考えを尊重して、課題の解決に向けて協力し合ったり助言し合ったりする活動を通じて、コミュニケーション能力を育成することを目指しました。

## 6 情報社会を生き抜く能力を育成する。

- 日常に見られるさまざまな文字を教材にすることで、生徒の社会生活における文字への意識を引き出し、伝達手段としての文字感覚を養うだけでなく、さらには思考力や判断力、表現力など生きる力を支える能力が身につくことを目指しました。

## II. 編修の基本方針

### 基礎・基本が自然に身につく教科書

#### ■ 小学校とのスムーズな接続を図れるよう、「基礎編」を新設しました。

- 小学校で学習した書写の基礎・基本を確認する場として「基礎編」を新設しました。中学校での学習内容を扱う「学習編」の前に、導入として扱うことで、小学校での学習とスムーズな接続を図ることができます。

#### ■ 「その学習で、どんな力を身につけるか」を明確に示しました。

- 各教材は、①学習の目標を確認し、②文字の原理・原則を理解したうえで、③実際に書いて確かめ、④最後に自己評価するという構成をとっています。その教材で何を学び、どのような力を身につけるかを焦点化して示すことで、基礎・基本を無理なく定着できるよう配慮しました。

#### ■ 系統的かつ段階的に習得できます。

- 系統的かつ段階的に教材を配列することを心がけました。特に、中学校で初めて学習する行書は、行書の筆使いや字形の整え方を段階的に学習することで、文字を正しく整えて速く書く能力の基礎を養えるよう配慮しました。

#### ■ 見通しをもって学習に臨み、振り返ることで身につけた力を確認できます。

- 1年から3年までの内容を1冊にまとめました。3年間の学習を見直し、必要に応じて既習事項の確認を行うことで、書写の基礎・基本を着実に身につけられる構成となっています。

### 書写の力が日常に広がる教科書

#### ■ 国語や他教科との連携を図りました。

- 学習を通して我が国の言語文化への理解を深め、豊かな感性を育てるよう、国語教科書に掲載されている文章や詩、短歌、俳句、古典等を素材として取り上げ、楷書や行書で書く活動を随所に設けました。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の言語活動例に関連し、ノートへの記録や聞き取りメモ、掲示物、レポート等、生徒の日常に役立つ作例を多数掲載しました。中学校の実態に即した題材を、書式を踏まえ、書体や筆記具の特性を生かしつつ工夫して表現することで、書写力の活用により具体的なイメージをもてるよう配慮しました。

#### ■ 日常生活や学校生活に役立つ資料が充実しています。

- 巻末に「資料編」を設け、日常生活に役立つ実践的な資料や、学習を効果的にサポートする多彩な資料を収録しました。手紙等の定型書式を収めた「日常の書式」、各種言語活動や言語情報処理能力との連携を図った「活用のヒント」、漢字一覧や補充教材を収めた「書写事典」の3パートに分類することで検索性を高め、必要に応じていつでも活用できるよう配慮しました。

#### ■ 身の回りの文字や文字文化への関心を高められます。

- 文字や文字文化への理解・関心を高めるコラムを随所に設定しました。文字の歴史や書文化への理解を深めたり、活字やデザイン文字等、伝達表現としての文字に目を向けたりすることで、生徒の視野を広げ、興味・関心を喚起できるよう工夫しました。

### Ⅲ. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵・目次 〈前見返し～p3〉		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うために、口絵には、桜の花が一面に広がる風景を取り上げた。——【第四号】</li> <li>○幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、目次では、中学校で書写を学習する意義や目標を明確に示した。——【第一号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表2～p1</li> <li>・p2～3</li> </ul>
基礎編 〈p4～9〉		<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うために、全教科の基礎となる姿勢や執筆や、小学校6年間で学習した書写の基礎的・基本的な知識や技能を巻頭に設定した。——【第一号】</li> <li>○男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うために、学習をサポートする写真やイラストにおいては、男女の平等や役割に配慮した。——【第三号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p4～9</li> </ul>
1年生	<b>1 楷書の書き方を確かめよう</b> 〈p10～13〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、小学校で学習した楷書の基礎的・基本的な知識や技能について、書き込み欄を設け、生徒自らが考え判断するように設定した。——【第一号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p10～13</li> </ul>
	<b>2 楷書に仮名を交えて書こう</b> 〈p14～19〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、平仮名の成立をいろは歌とともに学習できるように設定した。——【第五号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p14～15</li> </ul>
	[コラム] 文字の歴史を探る 〈p20～21〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統と文化を尊重し、また他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、平仮名の元となった漢字の歴史を探り、その変遷とともに我が国と漢字との深い関わりを示した。——【第五号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p20～21</li> </ul>
	<b>3 行書の書き方を学ぼう</b> 〈p22～31〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○真理を求める態度を養うことができるよう、単元名と教材名、リード文は生徒の立場に立ったものとし、「学習の窓」で、そこでの学習のポイントを確認できる構成とした。——【第一号】</li> <li>○自主及び自律の精神を養うために、生徒自らが学習を振り返りながら次の学習へと進めるよう、各教材には自己評価欄を設定した。——【第二号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p22～25</li> <li>・p25,27,29,31</li> </ul>
[コラム] 季節のしおり1 〈p32～33〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、硬筆教材として、四季の美しい景色や自然の豊かさを感じられる文を選定し、イラストにも配慮した。——【第四号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p32～33</li> </ul>	
2年生	<b>1 行書の書き方を学ぼう</b> 〈p34～39〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○真理を求める態度を養うことができるよう、単元名と教材名、リード文は生徒の立場に立ったものとし、「学習の窓」で、そこでの学習のポイントを確認できる構成とした。——【第一号】</li> <li>○自主及び自律の精神を養うことができるよう、生徒自らが学習を振り返りながら次の学習へと進めるよう、各教材には自己評価欄を設定した。【第二号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p34～37</li> <li>・p35,37,39</li> </ul>
	<b>2 行書に仮名を交えて書こう</b> 〈p40～45〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、平仮名の成立をいろは歌とともに学習できるように設定した。——【第五号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p42～43</li> </ul>
	<b>3 楷書か行書かを選択して書こう</b> 〈p46～47〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うとともに、書写と職業及び生活との関連を重視する態度を養うために、学校案内パンフレットやポスター制作といった生徒の日常に生きる教材を設定した。——【第二号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p46～47</li> </ul>
	[コラム] 季節のしおり2 〈p48～49〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、古文や俳句などを題材とした文字を硬筆の教材として選定し、関連したイラストを配置するなどの配慮をした。——【第五号】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p48～49</li> </ul>

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
3 年 生	<b>1 目的に応じて効果的に書こう</b> 〈p50～51〉	○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うために、生徒が日常に目にすることができる雑誌を題材として、書写で学習する要素が身の回りのさまざまな文字に見ることができることを示した。 —————【第二号】	・ p50～51
	[コラム] デザインと文字 〈p52～53〉	○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、生徒に身近な書籍や江戸から昭和にかけて作られたポスターを通して、生徒が書写で学習する要素が効果的に使われていることを理解できるよう示した。—————【第三号】	・ p52～53
	<b>2 学習したことを生かして書こう</b> 〈p54～57〉	○自主及び自律の精神を養うために、これまでに学習したことを振り返ることができるよう、中学校3年間で学習する書写の要素を見開きで示した。 —————【第二号】	・ p54～55
	[発展] 先人の文字に学ぶ 〈p58〉	○生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うために、卒業記念作品として、自分史やDVDレーベルといった自らの成長を通して生命に目を向ける題材を取り上げた。—————【第四号】	・ p56～57
	[発展] 先人の文字に学ぶ 〈p58〉	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うために、現代に受け継がれてきた先人たちの優れた個性的な筆跡を示した。—————【第五号】	・ p58
[コラム] 手書きの力 〈p119〉	○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、手書き文字の、活字にはない価値や意義を実感できる教材を設定した。—————【第二号】	・ p119	
<b>資料編</b>			
日常の書式 〈p60～67〉	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、手紙や封筒の書式や時候の挨拶などの伝統的な定型文や書式、のし袋の書き方など、伝統と文化を尊重した教材を意識して示した。 —————【第五号】	・ p60～67	
活用のヒント 〈p68～77〉	○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うために、ポスターやレポート作成といった国語の授業や、文化祭などの学校行事に関連した教材を設定することで、書写での学習を生徒の日常に生かせるよう配慮した。—————【第二号】	・ p68～77	
書写事典 〈p78～118〉	○自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う意識がもてるよう、生徒の身の回りの用具・用材である筆・紙・墨・硯の製造法を紹介した。 —————【第四号】	・ p78	
	○豊かな情操を培うことができるよう、毛筆大字教材の文字は書写の学習要素を押さえるとともに、生徒の感性を意識した言葉を選定するよう配慮した。—————【第一号】	・ p99～105 ・ p110～118	

## Ⅳ. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### ■ 全ての生徒にとって使いやすく、わかりやすい教科書を実現しました。

- 特別支援教育の専門家から校閲を受け、全ての生徒にとってわかりやすく、使いやすい教科書を実現しました。

#### 【学習の見通しをもてるように】

学びに集中できるよう、学習内容を焦点化し、授業の流れがひと目でわかる、すっきりとしたデザインを採用しました。また、「目標」「学習の窓」など、学習内容がわかるマークを付し、展開をわかりやすく示しました。

#### 【図やイラストの活用】

課題発見や解決に導くキャラクターを用いることで、生徒の学習がスムーズに進められるよう工夫しました。また、わかりにくい筆使いや字形については、写真で示したり図解したりして、視覚的にも理解しやすいよう提示しました。

- カラーユニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、全ての生徒にとってわかりやすく、使いやすい教科書を実現しました。

#### 【配色への配慮】

文字や図表などに複数の色を用いるときは、誰もが明確に識別できる組み合わせであることに、細心の注意を払いました。

### ■ 小学校・中学校・高等学校の接続を図りました。

- 小学校書写からのスムーズな接続を図るために、「基礎編」を設けました。「基礎編」で小学校での学習内容を確認してから、中学校の学習を扱った「学習編」に移行することで、より円滑で有機的な小・中の関連を図ることができます。
- 高等学校芸術科書道への関連を意識し、1年に「コラム 文字の歴史を探る」を、3年に「発展 先人の文字に学ぶ」を設けました。文字を正しく整えて速く書くことが目的の「国語科書写」から、書の芸術性や個性を重視する「芸術科書道」への足がかりとなるよう、漢字五書体や書の古典・古筆を紹介し、書き手による違いにも言及しています。

# 編修趣意書

## 学習指導要領との対照表，配当授業時数表

受理番号	学校	教科	種目	学年
26 - 2	中学校	国語科	書写	1・2・3 学年
発行者の番号・略称	教科書の番号・略称	教科書名		
38 光村	書写 735	中学書写 一・二・三年		

## I. 編修上特に意を用いた点や特色

### 構造上の特徴

#### 1 全体の構成と配列

- 1年から3年までの内容を1冊にまとめました。3年間の学習を見通し，習得と活用をスパイラルに繰り返すことで，書写の基礎・基本を確実に定着できます。
- 教科書全体を「基礎編」「学習編」「資料編」の3部構成としました。「学習編」を軸に，相互参照しながら活用することで，日常に生きて働く書写力を育てます。
- 生徒が学習のゴールを見通した上で主体的に学習できるよう，巻頭に「中学校三年間の見通しをもとう」を設けました。中学校3年間の目標を掲げるとともに，新たな学習事項である行書について，わかりやすく解説しています。

#### ■ 全体の構成

相互参照しながら活用することで  
生きて働く書写力を身につける。

##### 小学校における学習内容

小学校から中学校へのスムーズな  
接続を旨とし，巻頭に設けました。  
小学校での学習した内容がコンパ  
クトにまとまっており，導入として，  
また学習活動の中で必要に応じて  
活用できます。

##### 基礎編

(P4-9)

##### 学習編

(P10-58,119)

##### 中学1年から3年までの学習活動

学習指導要領に示された指導事項を，  
系統的かつ効果的に学習できるよう，  
各単元・教材での学習内容を焦点化  
し，段階的に配列しました。

##### 資料編

(P60-118)

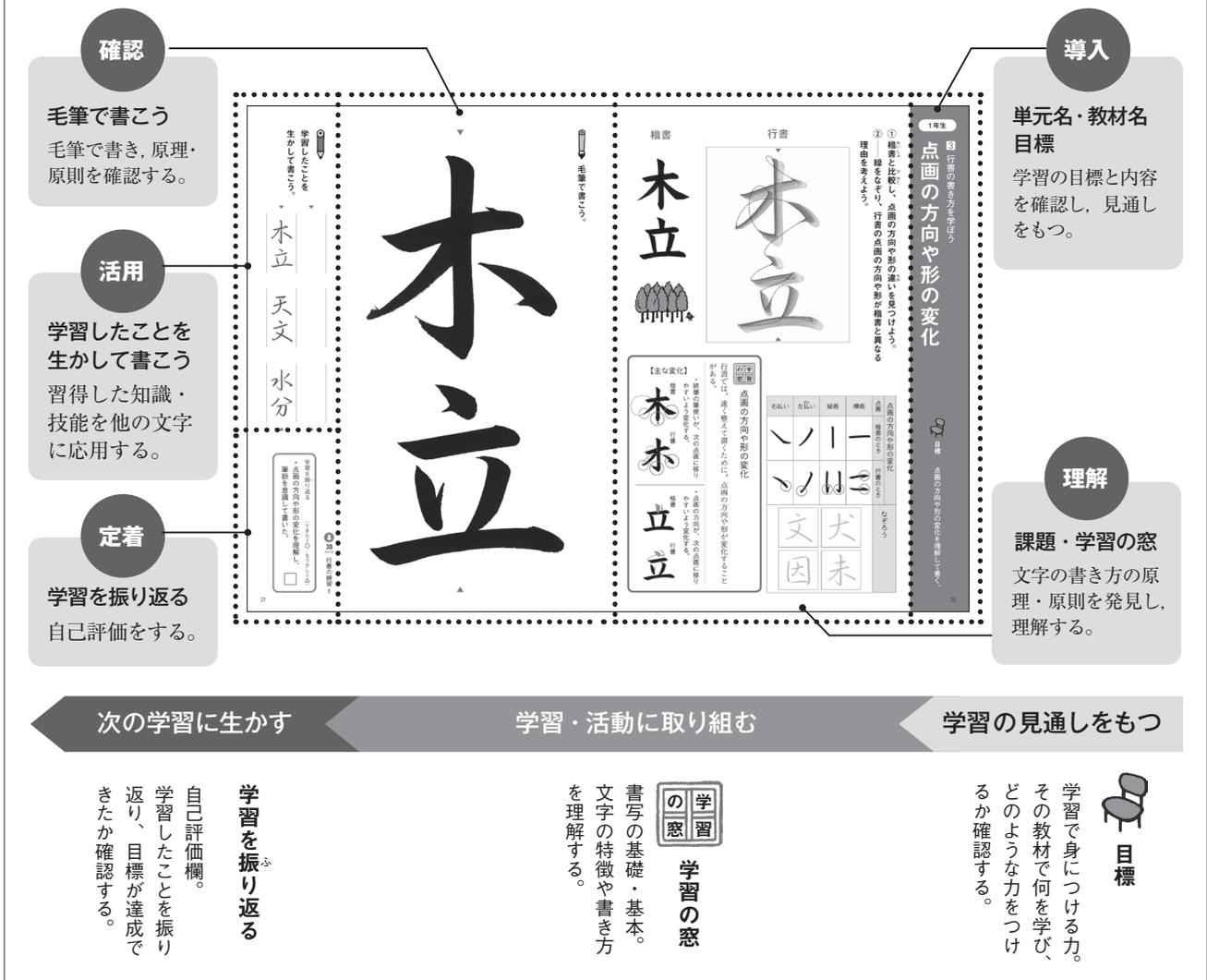
##### 書写力を日常に生かすための資料

身につけた書写力を日常に生かす橋渡  
しとして，巻末に設けました。  
手紙などの書式や，情報のまとめ方，  
楷書・行書の一覧など，日常生活や書  
写の学習に役立つ資料を整理して示し  
ました。

#### 2 各教材の構成

- 各教材を見開きで構成し，学習の内容と活動の流れをひと目でつかめるように配慮しました。
- 全教材に「目標」及び「学習を振り返る」（自己評価の観点）を明示し，見通しをもって学習できるようにしました。
- 全教材に「学習の窓」を設け，他の文字を書くときにも活用できる基礎・基本（文字の特徴や書き方のポイント）を明確に示しました。
- 教材冒頭には，文字の特徴や書き方のポイントを，生徒自ら発見する活動を設けました。暗記ではなく，観察や比較，言語化を通して主体的に考えることで，原理・原則の根底にある理論を捉え，理解を深められるよう工夫しました。また，課題解決の過程を通して，生徒の主体性や思考力・判断力を養えるよう配慮しました。

## ■ 各教材の構成（例）



## 基礎・基本を効率的に定着させる工夫

### [ 小学校からの接続 ]

#### ■ 「基礎編」の設置

- 導入として「基礎編」を新設し、小学校での学習事項をコンパクトにまとめました。生徒のレディネスを確認し、小学校からの円滑な接続を図る場として活用できます。

#### ■ 小学校からの接続を意識した楷書の扱い

- 楷書の学習では、学習活動を通して、小学校での学習を振り返り、筆使い・字形・配列などのポイントを体系化された知識・技能として定着できるよう配慮しました。

### [ 行書学習について ]

- 中学校で初めて学習する事項のため、段階的に習得できるよう配慮しました。

- 導入**：楷書と行書の比較を通して、それぞれの特徴を発見する活動を設けました。指でなぞる、横画を書いて比較するといった活動を通して、筆使いや字形、書くときの速さなどの違いに気づけるよう工夫しました。
- 行書の特徴**：「点画の方向や形の変化」「点画の連続」を1年に、より発展的な「点画の省略」「筆順の変化」を2年に位置づけました。さらに、習得した知識・技能を他の文字に応用する方法を知り、日常化への橋渡しとするため「行書の練習」を設けました。
- 書体の使い分け**：2年の最終教材は、楷書・行書それぞれの特徴を理解したうえで、目的や相手に応じて、それらを効果的に使い分ける学習活動を設定しました。

## [ 教材文字の選定 ]

- 書写の学習要素を習得するのに最適で、かつ言葉としても美しい、価値ある教材文字を厳選しました。
- 毛筆・硬筆とも、小学校学習指導要領の「学年別漢字配当表」に準拠し、生徒の発達段階に即した字体を示しました。生徒の混乱を招かないよう、楷書・行書ともに書きぶりを一貫させ、部分の形も統一しています。また、楷書については、教科書体活字との整合性も図りました。

## [ 毛筆と硬筆の関連 ]

- 毛筆を硬筆の基礎と捉え、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定しました。硬毛の密接な関連を図り、毛筆での学習が硬筆に生きるよう工夫しました。

## 知識・技能を活用し、日常に生かすための工夫

### [ 資料の充実 ]

- 日常生活に役立つ実践的な資料を、必要に応じていつでも参照できるよう、巻末にまとめました。検索性を高めるため、「資料編」の中は次の観点で分類しました。

#### ■ 資料編「日常の書式」

- 手紙やはがき、原稿用紙など、日常生活や学校生活でよく使われる書式と、書くときの留意点を整理して示しました。
- 義務教育の最終学年まで使用することを考慮し、願書やのし袋、宅配便の送り状等、生涯にわたり、さまざまな場面で役立つ内容を掲載しました。

#### ■ 資料編「活用のヒント」

- 書写で習得した知識・技能を生かし、情報を効果的に扱う方法を示しました。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の言語活動例に示された文種・活動を中心に、他教科や社会生活にも役立つ内容を示しました。
- 「情報を集めて、整理する」では、マッピングや聞き取りメモ、ノートの取り方などを例に、文字を使った情報収集・情報整理のしかたを示しました。情報を文字や図で視覚化することの有効性を具体例とともに示しています。
- 「情報を発信する」では、ポスター、レポート、新聞、リーフレットなどを例に、情報を効果的にまとめ、目的や相手に応じてわかりやすく伝えるための方法を示しました。情報に軽重をつけたり、読みやすく整理したりするための方法を具体例とともに紹介しています。
- 書写で習得した知識・技能を日常に生かす事例として、読書環境や学校行事を彩る多様な作例を示しました。

#### ■ 資料編「書写事典」

- 「学習編」と有機的な関連を図ることで、書写力を高め、授業を活性化できる多彩な書写資料を掲載しました。
- 常用漢字表（2010年改訂）に含まれる全ての漢字を、楷書・行書で示しました（「常用漢字一覧表」）。この他、行書の書き方を3段階で示した「部分別行書一覧」や、毛筆補充教材、原寸大書き初め教材、文房四宝の作り方など、書写にまつわる知識事項を項目別に整理し、検索しやすいよう整理して示しています。

## 文字や、文字文化への関心を高める工夫

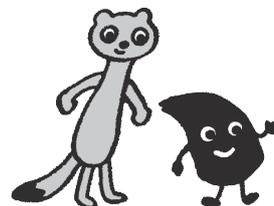
### [ 伝統的な言語文化への関心を深めるコラム ]

- コラム「季節のしおり」では、国語の授業で学習する詩や短歌、俳句、古典を素材とし、楷書や行書で書く活動を設定しました。書くことを通して言葉や表現を味わい、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮しました。
- コラム「文字の歴史を探る」「先人の文字に学ぶ」では、楷書・行書・仮名に至る文字の歴史をたどったり、書き手による文字の違いを比べたりすることで、文字文化への興味・関心を高められます。
- コラム「デザインと文字」「手書きの力」では、手書きと活字、それぞれの特徴を踏まえた上で、場面や目的に応じて効果的に使い分けることの大切さを、デザイナーや作家の言葉から感じ取ることができます。身の回りの文字文化に目を向けさせるとともに、生涯にわたり文字を使いこなす主体としての自覚を促します。

## 学習効果を高めるための工夫

### [ デザイン等視覚面の工夫 ]

- 「目標」 「学習の窓」 「毛筆で書く」 「鉛筆で書く」 などの学習指示にマークを付し、学習の展開をわかりやすく示しました。
- 教材冒頭に学年カラーの帯を敷き、教材ごとに学年を明示しました。3年間の見直しをもち、いつでも既習事項を確認できる合本のよさを生かすために、学年間の中扉は廃止しました。
- 課題解決や内容理解のヒントとしてキャラクターを活用し、学習がスムーズに進められるよう工夫しました。
- わかりにくい筆使いや字形については、写真や図解などで、視覚的にわかりやすく提示しました。



## Ⅱ. 対照表

学年	図書の構成・内容	箇所	学習指導要領の内容		その他の記号	時数
			伝統的な言語文化と国語の特性に関する事項			
			(2)の記号	(1)の記号		
適宜	・文字と出会う	表2～1				
	・目次	2～3				
	<b>基礎編</b>					
	・書くときの姿勢／筆記具の持ち方／用具の扱い方	4～5				適宜
	・点画の種類と筆使い	6～7				
	・字形の整え方／読みやすく書くために	8～9				
1	<b>学習編</b>					
	<b>1 楷書の書き方を確かめよう</b>					
	漢字の筆使い（毛筆）	10～11	ア	ウ(イ)		2
	漢字の字形（硬筆）	12～13	ア	ウ(イ)		1
	<b>2 楷書に仮名を交えて書こう</b>					
	平仮名の筆使いと字形（毛筆）	14～15	ア	ア(ア)		2
	文字の大きさと配列（毛筆）	16～17	ア	ア(ア)・ウ(イ)		2
	楷書と仮名のまとめ（硬筆）	18～19	ア	ウ(ア・イ)		1
	[コラム] 文字の歴史を探る（知識事項）	20～21	ア・イ			1
	<b>3 行書の書き方を学ぼう</b>					
	行書の特徴（毛筆）	22～25	イ		A(1)オ(2)イ	2
点画の方向や形の変化（毛筆）	26～27	イ	ウ(イ)		3	
点画の連続（毛筆）	28～29	イ	ウ(イ)		3	
行書の練習1（硬筆）	30～31	イ	ウ(イ)		2	
[コラム] 季節のしおり1（硬筆）	32～33	ア・イ	ア(ア)・ウ(ア・イ)		1	

学年	図書の構成・内容	箇所	学習指導要領の内容			時数
			伝統的な言語文化と 国語の特性に関する事項		その他の記号	
			(2)の記号	(1)の記号		
2	<b>1 行書の書き方を学ぼう</b>					
	点画の省略(毛筆)	34~35	ア	ウ(イ)		3
	筆順の変化(毛筆)	36~37	ア	ウ(イ)		3
	行書の練習2(硬筆)	38~39	ア	ウ(ア・イ)		2
	<b>2 行書に仮名を交えて書こう</b>					
	行書と仮名の調和(毛筆)	40~41	ア	ア(ア)・ウ(ア・イ)		3
	行書に調和する仮名(毛筆)	42~43	ア	ア(ア)・ウ(イ)		3
	行書と仮名のまとめ(硬筆)	44~45	ア	ア(ア)・ウ(ア・イ)		2
	<b>3 楷書か行書かを選択して書こう</b>					
	楷書と行書の使い分け(硬筆・毛筆)	46~47	イ	ウ(ア・イ)	A(1)オ(2)イ	2
[コラム] 季節のしおり2(硬筆)	48~49	ア・イ	ア(ア)・ウ(ア・イ)		2	
3	<b>1 目的に応じて効果的に書こう</b>					
	文字を効果的に使うために(知識事項)	50~51	ア	ウ(ア・イ)	A(1)エ(2)イ	2
	[コラム] デザインと文字(知識事項)	52~53	ア			2
	<b>2 学習したことを生かして書こう</b>					
	三年間のまとめ(知識事項)	54~55	ア	ウ(イ)		2
	未来に向かって(硬筆・毛筆)	56~57	ア	ウ(ア・イ)	B(1)ア・イ・エ	2
	[発展] 先人の文字に学ぶ(知識事項)	58	ア			1
[コラム] 手書きの力(知識事項)	119	ア			1	
1~3	<b>資料編</b>					
	<b>日常の書式</b>					
	手紙の書き方/封筒の書き方/はがきの書き方/送り状・願書・のし袋の書き方, 原稿用紙の使い方	60~67	1年ア・イ 2年ア・イ 3年ア	1年ウ(ア・イ) 2年ウ(ア・イ) 3年ウ(ア・イ)	2年B(1)イ・ウ 2年B(2)ウ	適宜
	<b>活用のヒント</b>					
	情報を集めて, 整理する/情報を発信する/読書環境を豊かにする/学校行事を盛り上げる	68~77	1年ア・イ 2年ア・イ 3年ア	1年ウ(ア・イ) 2年ウ(ア・イ) 3年ウ(ア・イ)	1~3年A(1)全 1・2年A(2)ア 1~3年B(1)全 1年B(2)イ・ウ 3年B(2)イ 1年C(1)カ 2・3年C(1)オ 1~3年C(2)ウ	適宜
	<b>書写事典</b>					
筆・紙・墨・硯ができるまで/常用漢字一覧表/平仮名・片仮名・数字・アルファベット/部分別行書一覧/書き初め(1~3年)/毛筆補充教材	78~118	1年ア・イ 2年ア・イ 3年ア	1年ウ(ア・イ) 2年ウ(ア・イ) 3年ウ(ア・イ)		適宜	

# 編修趣意書

## 発展的な学習内容の記述

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-2	中学校	国語科	書写	1・2・3 学年
発行者の番号・略称	教科書の番号・略称	教科書名		
38 光村	書写 735	中学書写 一・二・三年		

## I. 発展的な学習内容一覧表

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
58	先人の文字に学ぶ	1	高等学校芸術科学習指導要領 <b>【書道 I】</b> 3 内容 A表現 (2)イ 古典に基づく基本的な点画や線質の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を習得すること。 (3)イ 古典に基づく基本的な線質の表し方を理解し、その用筆・運筆の技法を習得すること。  B鑑賞 イ 見ることを楽しみ、書の美しさと表現効果を味わい、感じ取ること。 ウ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解すること。  と関連する。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数  1 )

### (「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容